

受章

おめでとう

ございます

平成22年秋の叙勲

平成22年 秋の叙勲が内閣府から発表され、桜川市から3人の方が受章の榮譽を授けられました。



◆旭日双光章
廣澤 光一郎さん
元市議会議員
(72歳 青木地区)

廣澤さんは、昭和54年1月から桜川市誕生後の平成18年6月までの28年余の長きにわたり、旧大和村議会議員、桜

川市議会議員を務め、各種常任委員長や村議会副議長・議長を歴任するなど、地方自治の発展向上に尽力されました。同氏は、「この度の受章は、地域を始め多くの皆様のご指導とご支援の賜と心から感謝しております。当地区は、天保4年（1833年）二宮尊徳先生の御仕法を受け困窮な状況から復興しました。二宮先生の教訓は、現代社会においても最も重要と肝に銘じ微力ながら今後とも努力していきたいと思えます。」と、受章の喜びを話していました。



◆瑞宝双光章
川那子 弥生さん
元上の原学園保育士
(64歳 鉾田地区)

川那子さんは、昭和47年から社会福祉法人上の原学園の保育士として平成20年に退職するまでの36年間余の長きに

わたり同学園で知的障害児の保育に携わり、入所者が能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう支援・尽力されてきました。平成17年には、福祉功労者として全国社会福祉協議会会長から表彰も受けています。同氏は、「在職中は、多くの方々や入所児童の笑顔、ご父兄の情熱に励まされて36年間過ごさせていただきました。この度、栄えある章をいただいたのも皆様方や家族の支えの賜と、心より感謝しております。」と、受章の喜びを話していました。



◆瑞宝双光章
持田 信乎さん
元公立中学校長
(74歳 鉾田地区)

持田さんは、昭和33年に旧岩瀬町立岩瀬小学校教諭として赴任。以来、平成8年に旧岩瀬町立西中学校長で定年退職さ

れるまで教諭として23年間、公立学校長に6年間、更には茨城県教育庁行政機関に9年間勤務し教育行政や児童生徒の教育に専念されてきました。同氏は、「この度、受章の栄に浴しましたことは、身に余る榮譽のことと心から感謝しております。これは、児童生徒の指導、学校経営、教育行政へと教育の道に永年携わってきたことに対するものと受けとめております。皆様方の温かいご支援に感謝いたします。」と、受章の喜びを話していました。

現代の名工

(石彫工)
稲葉 健一さん
卓越した技能者で
厚生労働大臣表彰



稲葉さん（真壁町古城地区）は、石燈籠など機械彫りが主流となつている現代において数少ない手彫り技能者として、その高い技術が評価され、この度、厚生労働大臣より表彰状、卓越技能章および褒賞金が授与されました。同氏は、伝統技法による石燈籠などのほか、現代風石彫製品も手掛け、作品は製作技術に優れ、優雅さ、芸術性、市場性など他の模範となっております。また、指導者として後進の育成にも積極的で、石材業界の活性化に貢献しています。